

令和2年度 災害・事故時のこころのケア対策事業専門研修（技術取得研修）

子どものこころの危機の理解と対応

～コロナ禍で考えるこころのケア～

**講師 九州産業大学人間科学部
臨床心理学科
教授 窪田 由紀 先生**

【講師プロフィール】

博士（学術）。臨床心理士。公認心理師。専門は臨床コミュニティ心理学。研究テーマは学校危機の予防と支援。

北九州市立デイケアセンターにて精神障害者の社会参加支援に携わる。その後、九州国際大学、九州産業大学、名古屋大学を経て、平成30年4月より現職にて心理専門職の養成に携わる。この間、十数年にわたって北九州市スクールカウンセラーとして学校現場に関与。平成12年頃から児童生徒の自死を含む学校危機への支援プログラムの開発と実施体制の構築に関わり、平成21年から文部科学省の児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議の一員となり、本年度より座長。

関連著書に、福岡県臨床心理士会編・窪田由紀編著『学校コミュニティへの緊急支援の手引き 第2版』、窪田由紀他監修『危機への心理学的アプローチ』。

本研修は、非常時の「こころのケア」についての理解を深め、現場で適切な支援ができるよう知識と技術を習得することを目的としています。

子どもへの支援においては、子どもへの直接的なアプローチのみならず、子どもを支える家族への助言、関係者・機関へのコンサルテーションなどが必要となることが少なくありません。

今回は、子どものこころの危機をどのように理解し、対応するかをテーマに研修を開催します。新型コロナウイルス感染症流行下での子どものこころの状態や支援についてもお話いただきます。

支援現場に携わる方々に役立つ知識と技術が詰まった講義内容となります。こころのケアに携わる、多くの支援者の皆様のご参加をお待ちしています。

**日時 令和2年12月7日（月）
18：30～20：30（受付18：00～）**

**会場 北九州市総合保健福祉センター（アシスト21）2階講堂
（北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号）**

対象者 医療機関・相談機関職員、行政職員等で被災者・被害者の支援やこころのケアに携わる可能性のある方

**定員 50名 ※申込者多数の場合は人数調整します。ご出席いただけない場合のみご連絡します。
また、定員を大幅に上回る場合は、締切り日より早めに受け付けを終了します。**

**申込み 北九州市ホームページのネット窓口（電子申請）にて、
締切り 11月27日（金）（詳細は裏面をご参照ください）**

その他 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクのご持参ご着用をお願いします。また、発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛等の症状がある方はご参加をお控えください。新型コロナウイルスの感染状況により、急遽中止する場合があります。総合保健福祉センターの地下駐車場は夜間・休日急患センター利用者が利用されますので、ご利用はご遠慮ください。研修参加者への駐車券処理は行っておりません。



「申込み・問合せ先」 北九州市立精神保健福祉センター
〒802-8560 北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号
TEL：093-522-8729 FAX：093-522-8776



お申込みは『北九州市ホームページ』のネット窓口（電子申請）をご利用ください

【パソコンをご利用の方】

<https://www.shinsei.elg-front.jp/kitakyushu/uketsuke/dform.do?id=1603779738142>

北九州市ホームページトップ画面（電子申請画面）



【スマートフォンをご利用の方】



- ネット窓口（電子申請）がご利用いただけない方は、お電話でのお申込みも受け付けております。
- お申し込み後、キャンセルされる場合はご一報ください。

▶北九市立精神保健福祉センター編集・発行
冊子『災害・事故時こころのケアの手引き』
※北九州市いのちとこころの情報サイト
(<http://www.ktq-kokoro.jp/>)

に掲載。
北九州市立精神保健
福祉センター等に
配布。

